



2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月12日

上場会社名 大日精化工業株式会社
 コード番号 4116 URL <http://www.daicolor.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 弘二
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 最高財務責任者 (氏名) 有江 朋之
 四半期報告書提出予定日 2020年8月12日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-3662-7128

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	31,884	19.8	598	68.9	926	55.3	774	48.6
2020年3月期第1四半期	39,766	6.5	1,928	31.7	2,072	29.5	1,506	26.5

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 556百万円 (47.5%) 2020年3月期第1四半期 1,060百万円 (64.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	41.74	
2020年3月期第1四半期	81.14	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	187,829	95,573	49.9
2020年3月期	187,296	95,675	50.1

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 93,770百万円 2020年3月期 93,799百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		42.50		35.00	77.50
2021年3月期					
2021年3月期(予想)		15.00		15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(2020年8月12日)公表いたしました「連結業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	61,000	22.4	0	100.0	400	88.2	1,300	51.0	70.02
通期	126,000	18.8	500	89.7	1,200	78.5	1,800	54.7	96.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(2020年8月12日)公表いたしました「連結業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	18,613,110 株	2020年3月期	18,613,110 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	47,810 株	2020年3月期	47,702 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	18,565,345 株	2020年3月期1Q	18,565,837 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の世界経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため各国でロックダウン等の都市封鎖が実施され経済活動が著しく低迷いたしました。日本経済は、緊急事態宣言解除後も外出自粛の影響は大きく、消費や輸出等の需要回復が遅れました。

このような経済環境のもとで、当第1四半期連結累計期間の売上高は、印刷総合システム事業の包材向けパッケージ関連が前年並みに推移しましたが、全般的に低調に推移したことにより318億8千4百万円（前年同期比19.8%減）の減収となりました。営業利益は減収となりましたが経費支出の削減により5億9千8百万円（同68.9%減）、経常利益は9億2千6百万円（同55.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億7千4百万円（同48.6%減）の減益となりました。

次に事業セグメントの経営成績についてご報告いたします。

なお、営業利益につきましては、全社費用等の配分前で記載しております。

(化成品事業)

当事業は、塗料・印刷インキ、情報表示・記録用の無機・有機顔料及び加工顔料、繊維用着色剤の製造・販売を行っております。情報表示・記録用顔料は、テレワーク拡大によるディスプレイ関連が堅調な一方、オフィス事務機関連が低調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は47億8千3百万円（同26.1%減）、営業利益は2億5千2百万円（同70.6%減）となりました。

(化学品事業)

当事業は、マスターバッチ、樹脂コンパウンドなどのプラスチック用着色剤、紫外線・電子線硬化型コーティング剤の製造・販売を行っております。車両業界向けの着色剤は、自動車メーカーの稼働停止により低調に推移しました。コーティング剤は主に情報・電子業界向けのディスプレイ関連が堅調に推移しました。海外連結子会社においてはロックダウンの影響によりインドのコンパウンド事業拠点の稼働が低調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は167億1千万円（同21.5%減）、営業利益は5億8千2百万円（同54.7%減）となりました。

(高分子事業)

当事業は、ウレタン樹脂、天然物由来高分子の製造・販売を行っております。車両業界向けは、国内外ともに自動車メーカーの稼働停止により低調に推移しました。また、海外連結子会社においては中国の事業拠点の業績が前年並に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は36億1百万円（同25.3%減）、営業利益は4億8千6百万円（同43.3%減）となりました。

(印刷総合システム事業)

当事業は、印刷インキの製造・販売及び事業に付帯する商品とサービスを提供しております。グラビアインキの国内一般包材向けパッケージ関連は、外出自粛により中食向け需要が堅調に推移しました。海外連結子会社においては、中国・インドネシアの拠点の業績が好調に推移しました。一方、オフセットインキは需要減少傾向に加え、広告チラシ関連が低調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は67億5千8百万円（同4.9%減）、営業利益は6億7千5百万円（同20.5%増）となりました。

(その他事業)

当事業は、グループ各社等への不動産賃貸等を行っております。当セグメントの売上高は3千万円（同63.0%減）となり、営業損失は3千9百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は1,878億2千9百万円となり、前連結会計年度末と比べ5億3千2百万円増加いたしました。これは、「受取手形及び売掛金」が減少したことなどにより流動資産が24億6千5百万円減少した一方で、「有形固定資産」や「投資有価証券」が増加したことなどにより固定資産が29億9千8百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は922億5千5百万円となり、前連結会計年度末と比べ6億3千4百万円増加いたしました。これは、「支払手形及び買掛金」が減少したことなどにより流動負債が29億4千9百万円減少した一方で、「長期借入金」が増加したことなどにより固定負債が35億8千3百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は955億7千3百万円となり、前連結会計年度末と比べ1億1百万円減少いたしました。これは、「その他有価証券評価差額金」が増加した一方で、「為替換算調整勘定」が減少したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により合理的な算定が困難なため未定としておりましたが、その後の経済状況を踏まえ現時点で入手可能な情報に基づき業績予想を算定しました。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
第2四半期（累計）	61,000	0	400	1,300
通期	126,000	500	1,200	1,800

詳細につきましては、本日（2020年8月12日）公表いたしました「連結業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,915	32,676
受取手形及び売掛金	47,331	42,387
たな卸資産	28,494	28,560
その他	2,093	1,736
貸倒引当金	△87	△78
流動資産合計	107,748	105,282
固定資産		
有形固定資産		
土地	14,086	14,079
その他(純額)	33,320	34,702
有形固定資産合計	47,406	48,781
無形固定資産		
その他	2,955	2,811
無形固定資産合計	2,955	2,811
投資その他の資産		
投資有価証券	19,349	21,092
退職給付に係る資産	6,102	6,211
その他	3,754	3,665
貸倒引当金	△18	△15
投資その他の資産合計	29,186	30,953
固定資産合計	79,548	82,547
資産合計	187,296	187,829
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,641	22,409
短期借入金	15,107	15,834
1年内返済予定の長期借入金	8,978	8,658
未払法人税等	506	495
賞与引当金	2,227	3,296
関係会社整理損失引当金	81	101
環境対策引当金	10	18
その他	7,623	6,412
流動負債合計	60,177	57,227
固定負債		
長期借入金	16,740	20,126
関係会社整理損失引当金	1,190	1,292
環境対策引当金	3,195	3,196
退職給付に係る負債	8,840	8,896
その他	1,477	1,516
固定負債合計	31,444	35,028
負債合計	91,621	92,255

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,039	10,039
資本剰余金	9,772	9,772
利益剰余金	70,978	71,103
自己株式	△110	△110
株主資本合計	90,680	90,805
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,552	7,883
為替換算調整勘定	△1,592	△3,164
退職給付に係る調整累計額	△1,841	△1,754
その他の包括利益累計額合計	3,118	2,964
非支配株主持分	1,876	1,803
純資産合計	95,675	95,573
負債純資産合計	187,296	187,829

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	39,766	31,884
売上原価	32,967	26,942
売上総利益	6,799	4,941
販売費及び一般管理費	4,871	4,343
営業利益	1,928	598
営業外収益		
受取利息	41	41
受取配当金	153	137
為替差益	—	136
持分法による投資利益	45	13
その他	116	131
営業外収益合計	357	461
営業外費用		
支払利息	101	100
為替差損	36	—
その他	74	33
営業外費用合計	213	133
経常利益	2,072	926
特別利益		
投資有価証券売却益	—	69
関係会社整理損失引当金戻入額	64	42
受取保険金	61	—
その他	12	3
特別利益合計	138	115
特別損失		
固定資産除却損	27	23
関係会社整理損失引当金繰入額	4	178
その他	7	48
特別損失合計	39	249
税金等調整前四半期純利益	2,171	792
法人税、住民税及び事業税	164	463
法人税等調整額	508	△431
法人税等合計	673	32
四半期純利益	1,498	760
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△7	△14
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,506	774

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	1,498	760
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△707	1,331
繰延ヘッジ損益	1	—
為替換算調整勘定	254	△1,521
退職給付に係る調整額	52	86
持分法適用会社に対する持分相当額	△39	△100
その他の包括利益合計	△437	△203
四半期包括利益	1,060	556
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,049	621
非支配株主に係る四半期包括利益	11	△64

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注2,3)	四半期連 結損益計 算書計上 額
	化成品 事業	化学品 事業	高分子 事業	印刷総合 システム 事業	その他 事業 (注1)	計		
売上高								
(1)外部顧客への 売上高	6,474	21,286	4,819	7,103	81	39,766	—	39,766
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	103	15	133	—	4,744	4,997	(4,997)	—
計	6,577	21,302	4,953	7,103	4,826	44,763	(4,997)	39,766
セグメント利益 (営業利益) (△損失)	858	1,285	857	560	△106	3,455	(1,526)	1,928

(注) 1. 「その他事業」の営業損失は、当事業において当社グループ会社等への不動産管理などの役員提供を営む会社が含まれているためであります。当事業に係る収入は営業外収益として計上しており、また営業費用については各報告セグメントへの配賦を行っておりません。

2. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用1,526百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務、経理などの本社機構の費用及び研究開発の費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注2,3)	四半期連 結損益計 算書計上 額
	化成品 事業	化学品 事業	高分子 事業	印刷総合 システム 事業	その他 事業 (注1)	計		
売上高								
(1)外部顧客への 売上高	4,783	16,710	3,601	6,758	30	31,884	—	31,884
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	84	8	97	—	3,531	3,722	(3,722)	—
計	4,868	16,718	3,698	6,758	3,562	35,606	(3,722)	31,884
セグメント利益 (営業利益) (△損失)	252	582	486	675	△39	1,956	(1,358)	598

- (注) 1. 「その他事業」の営業損失は、当事業において当社グループ会社等への不動産管理などの役務提供を営む会社が含まれているためであります。当事業に係る収入は営業外収益として計上しており、また営業費用については各報告セグメントへの配賦を行っておりません。
2. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用1,358百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務、経理などの本社機構の費用及び研究開発の費用であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。